



のブリッジ余談 (第 89 回)

パートナーの誤りを予防する

2016.12.16

第 2 セッション

#7 BOTHVUL Dealer S

♠KQJ876	
♥9762	
♦Q96	
♣-	
♠105	♠32
♥KQ	♥AJ105
♦A832	♦1074
♣J7653	♣10842
♠A94	
♥843	
♦KJ5	
♣AKQ9	

N		E
W		S

これは 2016 年 11 月 19 日の町田 SRR & ペアであったハンドですが、S が 1NT オープンの後、テキサストランスファーを経て S の 4S になります。W は ♥K をリード、これは取れて、パートナーの E からはカモンシグナルの ♥J が出ます。これで E は ♥AJ10 と持っていそうです。このまま ♥Q と続けると E は ♥A でオーバーテイクして ♥10 も取り 4 枚目の ♥ を出しそうです。ディクレアラーは ♠A でハイラフし ♣AKQ でダミーの ♦3 枚を消して 4 メークします。何が悪かったのでしょうか？まず W が ♥K が取れたところで、よく考えねばなりません。♥で 3 トリック取れるなら ♦A も取れて 1 ダウンなはずですが、♦はダミーに Q が見えていますからこちらで 2 トリックは取れないでしょう (E が ♦K を持っていない限り) もちろん ♥ がディーラーが 2 枚しかないときは作られてしまいますが、3 枚ならチャンスがあります。しかしその時に ♥Q を続けると E がオーバーテイクした後 ♥10 も取り (ここで W は ♦カモンをしますが) ♥ を続けて出してしまうかも知れません。そうするとディクレアラーは ♠A でハイラフし ♣AKQ と取ってダミーの ♦ をディスプレイして、あとはトランプを刈ってしまって 4 メークになってしまいます。「なぜ ♦カモンしているのに出さないの」とパートナーを責めてはいけません。自分が 2 トリック目に ♦A を取ってから ♥Q を出すべきだったのです。もし ♥Q と続けるとパートナーの E は ♥A、♥10 と取った後に E から ♦ を出してくれるかどうか定かではありません。E は W のオーバーラフを期待して ♥ を出すかも知れません。パートナーが間違えるのを防ぐ W のディフェンス (♦A を先に取りしてから ♥Q を出すこと) が優れたディフェンスと言うことになります。E 側で考えると W がオーバーラフ出来るためには W に ♠A が必要、

もしそうならそれはナチュラルトリックで自然と 1 ダウンするのですから、♦ にシフトするのが正しいという結論に到達するはずなのですが、間違えるかも知れません。このようにパートナーの間違いを予防することが良いディフェンダーになるための必須条件です。なおこのハンドは全テーブルで 4 メークしていました。